

別紙1 第71回全国肢体不自由教育研究協議会北海道大会 分科会提案者、司会者、助言者一覧

		分科会名	観 点	提案テーマ	提案者	司会者	助言者
1	a	授業改善	学校で開発した授業研究の実践紹介やその成果の共有をとおして、各学校の授業改善を図る。	一人ひとりのよさや可能性を見出す授業づくり	横浜市立北綱島特別支援学校 高野 海	北海道真駒内養護学校 副校長 篠田 佳寿	筑波大学・上野学園短期大学非常勤講師 元文部科学省特別支援教育調査官 下山 直人 様
	b			ウェルビーイングな学校を目指して～主体的な授業研究とポジティブアプローチによる授業実践～	京都市立呉竹総合支援学校 中林 典子		
2	a	学習指導Ⅰ (準ずる教育課程)	個別の指導計画や授業計画、授業の工夫の実践紹介をとおして、準ずる教育課程(訪問教育含)の教科について、学習指導の充実を図る。	めざす児童生徒像の実現に向けた取組 ～個別最適な学びと協働的な学びの実践を通して～	長崎県立諫早東特別支援学校 小原 基子	石川県立いしかわ特別支援学校 教頭 畑澤 薫	北翔大学 非常勤講師 松井 由紀夫 様
	b			自己実現を目指した学習の展開と今後の取組について ～ICT機器の利活用を通して～	鹿児島県立鹿児島南特別支援学校 折田 美紀子		
3	a	学習指導Ⅱ (知的代替の教育課程)	個別の指導計画や授業計画、授業の工夫の実践紹介をとおして、知的代替の教育課程(訪問教育含)の領域・教科等について、学習指導の充実を図る。	主体的に考える力につながる生活科の授業づくり ～文部科学省著作教科書☆本を活用して～	東京都立村山特別支援学校 阿部 智子 山下 さつき	山形県立ゆきわり養護学校 教諭 柴田 雄一郎	北翔大学 教授 野戸谷 睦 様
	b			「自分から表現する子」の実現に向けた音楽科の授業実践	高知県立高知若草特別支援学校 子鹿園分校 中島 久美		
4	a	学習指導Ⅲ (自立活動を主とする教育課程)	個別の指導計画や授業計画、授業の工夫の実践紹介をとおして、自立活動を主とする教育課程(訪問教育含)の学習指導の充実を図る。	子供の学びの充実に向けた自立活動と各教科等の指導の関連について	富山県立高志支援学校 田辺 悠季	静岡県立静岡南部特別支援学校 教諭 小澤 彰子	北海道立特別支援教育センター 所長 柏木 拓也 様
	b			覚醒状態が低い児童の応答・発信力を育む自立活動の指導の充実	奈良県立明日香養護学校 赤井 伸充		
5	a	自立活動	教育課程、指導計画及び外部専門家との連携を含め、自立活動の時間の指導や教育活動全体を通じて行う指導の実践紹介をとおして、各学校の指導等の専門性向上を図る。	児童の思いをつなぎ、自己効力感と運動習慣を高める肢体不自由児の自立活動の実践研究～家庭・学校の連続性を通じて～	和歌山県立紀北支援学校 中村 知樹	東京都立村山特別支援学校 主任教諭 齋藤 亮	国立特別支援教育総合研究所 研修事業部 上席総括研究員(兼)部長 吉川 知夫 様
	b			「自立活動の指導における児童生徒の課題解決に向けた取り組み～外部専門家の活用を通して～」	沖縄県立鏡が丘特別支援学校 東江 卓矢		
6	a	健康教育	医療的ケア及び食育を含め、健康教育推進にかかわる取組や実践紹介をとおして、指導等の専門性向上を図る。	北海道立特別支援学校における摂食指導について ～北海道真駒内養護学校での取組および全道への給食指導支援～	北海道真駒内養護学校 皆川 悦子	香川県立高松支援学校 教諭 泉本 尚資	医療法人稲生会 理事長 土島 智幸 様
	b			「生活の質に配慮した医療的ケアの取り組み」 ～給食のペースト食注入(試行)を通して～	福岡市立南福岡特別支援学校 花木 梨恵		
7	a	情報教育・ 支援機器の活用	効果的な情報教育の授業実践、自立と社会参加につながる支援機器活用の実践紹介をとおして、各学校の授業改善を図る。	DXハイスクール事業を活用した肢体不自由教育における取り組み	福島県立郡山支援学校 駒木根 亮佑	市立札幌豊成支援学校 教諭 三木田 和基	国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 主任研究員 織田 晃嘉 様
	b			視線入力装置TDパイロットで実現する主体的な学びと達成感の支援	三重県立度会特別支援学校 川井 沙帆		
8	a	生活指導・ 寄宿舎教育	寄宿舎教育の指導実践を含め、肢体不自由校全般の生活指導実践の紹介をとおして、学習指導以外の指導面を補完し、生活指導の充実を図る。	児童生徒の「学び」と「生活」を支える取組 ～チーム保健室の実践～	島根県立松江清心養護学校 坂上 優香	熊本県立松橋支援学校 教諭 早水 一晃	北海道教育大学釧路校 教授 小野川 文子 様
	b			寄宿舎生活における社会的自立に向けた支援の可能性について	宮崎県立延岡しろやま支援学校 長島 一也		
9	a	キャリア教育及び 進路指導	キャリア教育及びキャリア形成を踏まえた進路指導の視点の共有をとおして、各学校の指導の充実を図る。	肢体不自由支援学校における進路支援の「今日まで、そして明日から」	宮城県立船岡支援学校 武田 幸司	埼玉県立宮代特別支援学校 教諭 都築 直紀	特定非常利法人カマイ大雪 バリアフリー研究所 代表理事 五十嵐 真幸 様
	b			肢体不自由生徒のキャリア発達をふまえた学校設定教科の試み	筑波大学附属桐が丘特別支援学校 高橋 佳菜子		
10	a	地域との連携	地域という視点からの支援機能の発揮や小・中学校等と進める交流及び共同学習の工夫、個別的教育支援計画の活用等の共有をとおして、各学校の機能向上を図る。	地域との交流及び共同学習～私たちを知ってもらおう～	青森県立弘前第二養護学校 佐野 佳奈恵	京都市立呉竹総合支援学校 教頭 木邑 佳織	横浜国立大学 教授 徳永 亜希雄 様
	b			「つながり」が広げる学びと未来 ～四者連携による共生社会の実現に向けて～	山口県立周南総合支援学校 宮本 慎太郎		